がん化学療法個人計画書 患者の状態により輸液の内容・量及び 投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	プロトコール名			
	結腸∙直腸癌	セツキシマブ			
投与予定	休薬を含めて 1クール	7	日	可能な限り施行	

day1

初回 • Day1

点滴静注 15分 生食 50ml デキサメタゾン 6.6mg dークロルフェニラミン 5mg

> 点滴静注 30分 生食 100ml

点滴静注 120分 生食 500-αml (セツキシマブ量に応じて減量)

セツキシマブ 初回:400mg/㎡

点滴静注 60分 生食 100ml

セツキシマブ投与終了後、セ ツキシマブと同じ投与速度で ラインを生食にてフラッシュす る

セツキシマブ投与終了後、少なくとも1時間は観察期間(バイタルサインをモニターする等)を設ける。

2回目以降·Day1

点滴静注 15分 生食 50ml デキサメタゾン 6.6mg dークロルフェニラミン 5mg

> 点滴静注 30分 生食 100ml

点滴静注 60分 生食 250ml セツキシマブ※ 2回目以降: 250mg/㎡

> 点滴静注 60分 生食 100ml

セツキシマブ投与終了後、セ ツキシマブと同じ投与速度で ラインを生食にてフラッシュす る

セツキシマブ投与終了後、少なくとも1時間は観察期間(バイタルサインをモニターする等)を設ける。

1クール7日

day7

Oinfusion reactionについて

- ・投与速度は10mg/分以下:速いとリスク増加。
- ・重度は投与中止し再投与は行わない。 ・軽度~中等度は投与速度を半分の 5mg/分以下。

再度infusion reactionが現れた場合には 再投与しない。

OG3以上の皮膚症状発現時の投与延期・減量基準

まず投与延期または中止 投与延期後、セツキシマブ再開時の用 量調節の目安有り

備考

薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	薬価最小組み合わせ	備考
セツキシマブ	400 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body		初回投与量
	250 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body		2回目以降

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間